

肝腎同時移植における腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準について

1. 作業班開催の経緯

- 日本移植学会から、「肝腎同時移植の際のクロスマッチ陽性の場合の腎臓のあっせんについて」、腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準変更に関する要望書が令和元年12月25日提出された。（参考資料1）
- 2020年11月11日に開催された肝臓・腎臓移植の基準等に関する作業班を開催、「肝腎同時移植の際のクロスマッチ陽性の場合の腎臓のあっせんについて」の議論が行われたが、その結論に関しては持ち越しとなった。

2. 今回の作業班で検討する項目

- 腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準（資料1-2）のうち、次の項目の見直しの方向性
 - 1. 前提条件
 - (2) リンパ球交叉試験（全リンパ球又はTリンパ球）陰性

3. 前回の作業班で頂いた主なご意見

- 以下について追加の資料が必要ではないか。
 - ① 肝腎同時移植の予後について
 - ② 本邦における肝腎同時移植の待機患者背景および移植実施患者の患者背景について
 - ③ 肝腎同時移植における海外のクロスマッチ陽性事例の予後について
 - ④ 肝腎同時移植後の肝臓の腎臓保護作用について
 - ⑤ 肝腎同時移植登録症例に対する移植実施施設の方針の再調査について